

看護部通信

#IOSPY

2024.4.16 発行 第58

ホスピグループ腎透析事業部看護部

ホスピーグループ腎透析事業部統括看護部長

宮下 美子

今年も新入職の仲間を迎えて新年度が始まりました。2024年度は、診療報酬改定に伴う業務改善もあります。看護部は理念基本方針の改定と、2024年度看護部目標立案をしました。理念基本方針に沿って目標達成のため、各施設・部署、個人での取り組みを期待しています。そして、新入職の方も在籍者の方も、体調に気を付けてワーク&ライフを充実させて欲しいです。

看護部理念基本方針 2024年4月1日改定

- 【理念】 命と人権を尊重し“その人らしく生きられる”ように支援します
- 【基本方針】
1. 私たちは、多職種と連携し、多様な価値観を持つ患者・家族への切れ目のない支援をします
 2. 私たちは、個性を尊重した看護・ケアを提供し意思決定を支えます
 3. 私たちは、それぞれの強みを生かし、チームで協力して専門性の高い看護・ケアを提供します
 4. 私たちは、社会の変化や災害に対して柔軟性をもって看護・ケアを提供します

2024年度看護部目標 キーワード:情報活用、越境、看護実践の振り返り

※重点目標

	大目標	中目標
顧客	個別性のある看護実践・指導・サービス	※①患者家族への看護実践・指導を振り返り活用 ②健康維持に向けた患者家族への多職種でのサービスの提供
内部プロセス	質向上に向けた改善と再構築	※①看護の質を高める実践・活動のみえる化 ②業務改善とマニュアルの見直し
学習と成長	相互に成長するキャリア支援	①内外の人材・教材を活用した教育 ※②成長を促す対話の場づくりと交流
財務	社会の変化に応じた取り組み	①診療報酬改定への対応と患者数の維持・増加への取り組み ※②働きがいがある働きやすい魅力ある職場づくり

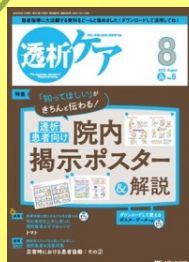
2023年度ホスピーグループ腎透析事業部看護部で多くの方が、雑誌に執筆し活躍されています。今回は、執筆された方々に執筆した時の思いなどをコメントで頂くことが出来ましたので紹介します。皆さんから、執筆して良かったとの声が多く聞かれています！

2023年度 ホスピーグループ腎透析事業部看護部 執筆一覧

執筆者名(部署)	執筆テーマ	掲載号
清原志穂(平針記念クリニック)	対話の場づくりプログラム第4回「新人交流会で不安を表出し合う」	ナーシングビジネス 2023年8月号
櫻井律子(新生会第一病院外来)	透析をしない選択をした超高齢CKD患者への支援	外来看護2023年 秋号
金丸いぶき(東海知多クリニック)	対話の場作りプログラム 第6回「患者の暴言から新人を守ろう」	ナーシング ビジネス 2023年10月号
鍵山千晶(東海クリニック)	困った透析患者との関わりについて、ベテランNS同士で語り合おう	透析ケア 2024年5月号

執筆者名(部署)	執筆テーマ	掲載号
山本 みどり(新生会第一病院 4階病棟)	職場活性化計画！対話の場づくりプログラム「転倒転落についての危険因子を語ろう」	ナーシングビジネス 2024年3月号
門嶋洋子(新生会第一病院 教育センター)	知っておきたいシャント観察のポイント	透析ケア2023年 8月号
門嶋洋子(新生会第一病院 教育センター)	透析療法に戸惑いや不安を抱える患者家族	透析ケア2024年 3月号
門嶋洋子(新生会第一病院 教育センター)	透析は1か月にどれくらい費用がかかるの？患者本人の負担はどのくらいなの？	透析ケア別冊 2024年 3月
門嶋洋子(新生会第一病院 教育センター)	原著：在宅血液透析における介助者の現状と継続的支援に向けての課題(共著)	在宅血液透析学会誌 2023年3巻2号
清水智子(新生会第一病院 透析室)	急にカリウム値が高くなった患者	透析ケア2024年3月号
岩井綾音(新生会第一病院 透析室)	急にリン値が高くなった患者	透析ケア2024年3月号
山本晃裕(新生会第一病院 透析室)	感染症対策：手指の正しい洗いかた・マスクのつけかた	透析ケア2023年8月号
岡山ミサ子(ホスピーグループ 腎透析事業部看護系顧問)	いのちと向き合う現場から“3S(Small・Short・Simple)”で対話の場づくりをしよう	ナーシングビジネス2023年毎号 ナーシングビジネス2023年毎号
宮下美子(ホスピーグループ 腎透析事業部統括看護部長)	透析患者向け院内掲示ポスター&解説 在宅血液透析患者の看護および家族支援 原著：在宅血液透析における介助者の現状と継続的支援に向けての課題(共著)	透析ケア2023年5月号、8月号 臨床透析2023年8月号 日本在宅血液透析学会誌 2023年3巻2号
片村幸代(新生会第一病院 看護部長)	在宅血液透析患者の看護および家族支援 透析専門病院における透析室	臨床透析2023年8月号 臨床透析2023年10月号

執筆者のコメント



★新生会第一病院教育センター 門嶋洋子★
依頼内容に応じた資料やガイドラインなどを調べることで自身の学びにつながりました。

★新生会第一病院透析室 山本晃裕★
雑誌などは多くの方に購入して頂くものです。そのため、正しいエビデンスを元にして執筆することが必要と考えています。執筆中は頭を抱えていますが、完成品を見ると充実感が湧いてきます。

★新生会第一病院透析室 岩井綾音★

自分の知識が増えたとし、早速現場でも生かすことが出来ているため、文章を書くことは苦手意識が強く依頼は断ろうと思いましたが、やってよかったと思いました。



★新生会第一病院透析室 清水智子★

今までは苦手意識があったが、自分が経験してきた看護をまとめることができ、今後の指導に活かせると思いました。出来上がった時はうれしかったです。



★平針記念クリニック 清原志穂★

1人では煮詰まってしまう、上司・編集者の方に携わっていただいたおかげで完成することができました。実際に出来上がった物を見て、素敵に掲載されていて感激しました!!

★東海知多クリニック 金丸いぶき★

自分の実績を書物として残すことができたことである。普段、家族とは仕事の話をするのではないが、形となることで、家族に頑張っていることを知ってもらうことができた。少しだけ息子に尊敬してもらえた。



★新生会第一病院4階病棟 山本みどり★

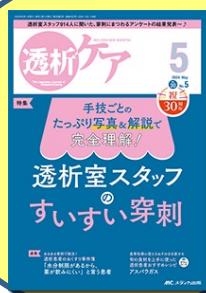
★新生会第一病院4階病棟 山本みどり★

療養病棟で問題となっている転倒転落について、スタッフの関心や意識づけに繋がることができればと思い取り組んだものが今回のWSでした。雑誌として形に残せるものになり、日頃の行動を振り返れるとても良い機会になりました。



★新生会第一病院外来 櫻井律子★

執筆するにあたり、今回の事例についてかなり深いところまで振り返りました。良かったことや今回の反省点が明確になっただけでなく、雑誌になったことで外来看護師の関わりを広く伝えることができたことが、何よりも良かったです。



★東海クリニック 鍵山千晶★

執筆は初めてなので不安だらけでしたが、助言を頂きながら言葉の表現や自分の考えの表出の仕方について学ぶことができました。めったにない機会なので、私にとって貴重な経験になったと思います